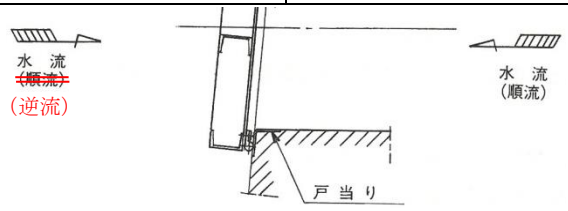
ダム・堰施設技術基準(案)(基準解説編・マニュアル編) 正誤表

H23.07 発行 第 2 版 1 刷用 (1/2)

頁	行数 上から	行数 下から	誤 (現行)	正	作成年月日
63		10 行目	ρ : 空気密度 (1.23kg/m^3)	ρ : 空気密度 (1.23N・s^2/m^4)	H28.1
71	表 3.1.8-3		圧縮部材 ℓ:部材の有効座屈長(mm)	$20 < \frac{\ell}{r} \leqq 93$: $120 - 0.75(\frac{\ell}{r}$ (=) $-20)$ 「=」を削除 左記応力度の	H29.1
98		3 行目 赤字追記	・・・形鋼では 5mm 以上とすることができる。	・・・形鋼では 5mm 以上とすることができる。河川管理施設として重要な水門扉・放流管については、河川管理者と協議するものとする。	H25.2
102		3 行目	f : 応力勾配による係数 (式 3.2.5-3)	f : 応力勾配による係数 (式 3.2.5-9)	H25.2
104		7 行目	$f = 0.65\left(\frac{\phi}{n}\right)^2 \cdot 0.13\left(\frac{\phi}{n}\right) + 1.0$	$f = 0.65\left(\frac{\phi}{n}\right)^2 + 0.13\left(\frac{\phi}{n}\right) + 1.0$	H23.11
106	1 行目		$t = \frac{\ell}{b}$	$a = \frac{\ell}{b}$	H25.3
172		4 行目	また, 水門・樋門用ゲートで押下げができる開閉装置形式の場合は, ・・・	また, 押下げができる開閉装置形式の場合は, ・・・	H28.1
277	12 行目		・・・自重降化・・・	・・・自重降下・・・	H23.11
327		14 行目	・・・分布長さの a より小さい・・・	・・・分布長さの 2a より小さい・・・	H25.3
332 333	図 2.2.1-2 扉体の構造概念図		P332 の (b) 横補助桁横主桁方式の図と, P333 の (d) 格子桁横主桁方式の図が逆になっている。	図のタイトルはそのままにして, 図のみを入れ替える または, 図をそのまま残し, P332 の (b) 横補助桁横主桁方式を (b) 格子桁横主桁方式に, P333 の (d) 格子桁横主桁方式を (d) 横補助桁横主桁方式に変更する。	H24.6
339	5 行目		・・・。その時の計算は以下のとおりとする。	・・・。その時の自重と積雪荷重、及び断面特性の考え方は以下のとおりとする。	H25.3
483	図 2.15.2-4 ( )書きを赤字に訂正		 図 2.15.2-4 フラップゲート		H25.2
488	6 行目		・・・, 図 4.16.2-4 に示す・・・	・・・, 図 2.15.2-4 に示す・・・	H25.3
497		5 行目	・・・表皮効果による過電流に・・・	・・・表皮効果による渦電流に・・・	H25.3

ダム・堰施設技術基準(案)(基準解説編・マニュアル編) 正誤表

H23.07 発行 第 2 版 1 刷用 (2/2)

頁	行数		誤 (現行)	正	作成年月日
	上から	下から			
514	10 行目		c～d 間： $M_x = M_a + p\left(\frac{\ell_{12}}{2} - r_n \cdots\right.$	c～d 間： $M_x = M_a + p\left(\frac{\ell_{12}}{2} + r_n \cdots\right.$	H28.10
532	8 行目		$\cdots \dfrac{\cdots - \dfrac{(t_r + 1.56\sqrt{r_m \cdot t}){r_0}'^2}{S_0 + 1.56t\sqrt{r_m \cdot t}} \cdots}{\cdots \dfrac{\sin h\beta\ell + \sin\beta\ell}{\cos h\beta\ell + \cos\beta\ell} + \cdots}$	$\cdots \dfrac{\cdots - \dfrac{(t_r + 1.56\sqrt{r_m \cdot t}){r_0}'^2}{S_0 + 1.56t\sqrt{r_m \cdot t}} \cdots}{\cdots \dfrac{\sin h\beta\ell + \sin\beta\ell}{\cos h\beta\ell - \cos\beta\ell} + \cdots}$	H25.3
552	13 行目		･･･負圧は, -1.5m 以下で･･･	･･･負圧は, -1.5m 水柱以下で･･･	H25.2
565	4 行目		･･･弾性係数が 23.5(N/mm^2)･･･	･･･弾性係数が 23.5(kN/mm^2)･･･	H23.11
566		9, 10 行目	(kN/cm^3)	(N/cm^3)	H23.11
592		11 行目	･･･技術基準 4-0-4 による。	･･･表 4.3.2-1 による。	H24.2
592		10 行目	･･･表 4.3.2-1 による。	･･･表 4.3.2-5 による。	H24.2
597		6 行目	ここに, ρ_w：水の密度 (kg/m^3)	ここに, ρ_w：水の密度 (N･s^2/m^4)	H28.1
598	1 行目		･･･$= \pi H_{1/3} T/_{1/3} \cdot e^{-2\pi Z/L_0}$･･･	･･･$= \pi H_{1/3}/T_{1/3} \cdot e^{-2\pi Z/L_0}$･･･	H25.6
598	12 行目		･･･空気密度 (N･s^2/m^4)	･･･空気密度 (kg/m^3)	H25.2
603		17 行目	･･･たわみは, 開閉荷重, ･･･	･･･たわみは, 昇降荷重, ･･･	H25.3
614	10 行目		･･･320kgf･･･	･･･320kg･･･	H23.11
767		11 行目	腐食速度は, 金属の電位差, 環境の抵抗率, 面積比･･･	腐食速度は, 金属の電位差が大きく, 環境の抵抗率が小さく, 面積比･･･	H23.11
772	図 4.1-5 の縦軸		腐食率 (%)	防食率 (%)	H25.3